

令和6年度 公益社団法人 生頼範義記念みやざき文化推進協会総会 式次第

日時：2024年6月3日（月）

午後3時～

場所：宮崎市民活動センター
大会議室

1. 開会の辞
2. 代表理事挨拶
3. 議事録署名人の選出
4. 議 事
 - (1) 第一号議案 令和5年度 事業報告（案）について
 - (2) 第二号議案 令和5年度決算（案）並びに監査報告について
 - (3) 第三号議案 役員人事（案）について
 - (4) 第四号議案 令和6年度事業計画（案）について
 - (5) 第五号議案 令和6年度収支計画（案）について
5. その他
6. 閉会の辞

令和6年度 公益社団法人 生頼範義記念みやざき文化推進協会
第1回理事会 式次第

日時：2024年6月3日（月）

午後2時～

場所：宮崎市民活動センター
大会議室

5. 開会の辞

6. 代表理事挨拶

7. 議事録署名人の選出

8. 議 事

(6) 第一号議案 令和5年度 事業報告（案）について

(7) 第二号議案 令和5年度決算（案）並びに監査報告について

(8) 第三号議案 役員人事（案）について

(9) 第四号議案 令和6年度事業計画（案）について

(10) 第五号議案 令和6年度収支計画（案）について

5. その他

7. 閉会の辞

第一号議案 令和5年度（2023年度）理事会 令和5年度事業報告書（案）

令和4年度理事会 議決

2023（令和5年度）

事業報告書（案）

2023年4月 1日から
2024年3月31日まで

公益社団法人 生頼範義記念 みやざき文化推進協会

はじめに

【環境認識】

新型コロナウイルスの感染拡大が世界中に拡大して4年目、収束に向かう中、ロシアのウクライナ侵攻、イスラエルとハマスの戦闘等に起因するエネルギーの高騰、円安による物価高が加速し、市民生活に多大な影響を与えている。

このような状況の中、世界的な株価上昇に対し、大きな後れをとっている我が国では、バブル以前の給与水準から実施的な賃金の引上げなきまま、現在に至っている。また中央省庁や地方自治体も福祉や子育て支援対策等の予算確保に力を入れている状況下で芸術文化に対する公的予算の獲得は年を重ねるごとに難しくなりつつある。

宮崎県民に対する文化・芸術への意識の醸成、またこれらの活動に携わる人材の確保は予算のみならず大きな地域課題の一つとなっている。

当法人は、芸術文化の普及及び人材育成に努め、より広く活動の幅を広めていくことが時代に即したものであることを自負し「民間による自発的な文化・芸術活動」を推進し「魅力ある地域社会を創造する」ことを念頭におき、民間公益活動の質と量を高めていくことが重要であると認識している。

以上の環境認識のもと、令和5年度事業の事業は、小規模ではあるが、前出の理念を活動の柱に据え、新しいイラストレーションに取り組む若者を顕彰する「第4回生頼範義 賞」の開催を筆頭に、生頼範義が遺した作品の保存、展示計画の策定、調査研究を行った。

【基本方針】

故・生頼範義氏が遺したイラスト及び絵画作品を保存・保管に努めると共に、宮崎県内での展示会等を企画し、文化・芸術に携わる若手の人材育成と県民の文化に対する意識の醸成を企図することで、地域社会の発展に寄与することを目的として令和5年度も次の3項目を軸に事業を実施した。

- 1) 展覧会の開催、常設の展示会場の設置実現に向けての計画策定
- 2) 故・生頼範義氏の作品・約3,000点の保存及び調査研究
- 3) 若手アーティスト育成のための支援

【令和5年度事業報告】

基本方針に基づき、宮崎県の芸術・文化を取り巻く環境変化・課題を適切にとらえつつ、以下の具体的活動を積極的に推進した。

- 1) 展覧会の開催、常設の展示会場の設置・実現に向けての計画策定
 - ・年1回1カ月程度の展覧会の開催
 - ・常設展示会場の設置に向けての調査研究、提言活動
 - ・宮崎県内からの生頼作品に関する情報の発信
- 2) 故・生頼範義氏の作品・約3,000点の保存及び調査研究
 - ・故・生頼範義氏が遺したイラスト及び絵画作品の製作年度の調査
 - ・イラスト及び絵画作品の製作目的の解明
 - ・イラスト及び絵画作品の保管場所の確保に対する議論を深め、実現に向けて関係機関への提案を行った。
 - ・常設の展示会場設置に向けて議論を深め、実現に向けて関係機関への提案を行った。
- 3) 若手アーティスト育成のための支援
 - ・芸術文化のさらなる普及を目指し第4回「生頼範義賞」を実施。その準備及び関係機関との連携を図って事業実施に取り組んだ。
 - ・将来のアーティストと成りえる人材の育成に係る課題と取組について議論を深めた。

「事業実施内容」

〈公益事業〉

1. 故・生頼範義氏の遺した作品の普及・啓発を目的とし、展覧会を企画すると共に、常設展示会場の設置に関する事業（公1）
 - (1) 展覧会「生頼範義展（公1-①）」

2023年1月に東京青梅市の「吉川英治記念館」において「生頼範義展」開催。

第一号議案 令和5年度（2023年度）理事会 令和5年度事業報告書（案）

当初は2023年度中に開催する予定であったが、新型コロナウイルスの影響で吉川英治記念館の判断で2023年度開催に会期が変更された。

令和6年1月20日（土）から3月17日（日）まで「新春展示・生頼範義 展～吉川英治を描く～」というタイトルで展示会が開催された。

また令和6年5月から7月にかけて、延岡市の延岡城・内藤記念博物館で開催を予定しており、相手先と詳細に関する打ち合わせを行った。

（2）常設展示場設置の計画策定（公1-③）

生頼作品が日常の中でいつでも見られるような環境を創造するため、宮崎県内に常設展示場を設置するための計画策定に着手し、関係機関と調整のうえ、必要であれば関係機関に提案し実現に向けての活動を行った。

【取組み状況】

宮崎市文化・市民活動課と調整。令和4年5月より生頼氏が遺した油絵151点の作品を、宮崎市が新たに改装した「蓮ヶ池歴史資料館跡地（旧みやざき歴史文化館）」の収蔵施設に移設

同年6月から、宮崎市と当法人の契約後、収蔵。

また、みやざきアートセンターに特設コーナーを設置し、月替わりで生頼範義の作品を展示している。

（3）故・生頼範義氏の遺した作品の保存及び調査研究に関する事業（公1-②）

1 生頼範義作品の調査研究

現在、故・生頼範義氏のアトリエに保管されているイラスト・及び絵画作品の詳細（制作年度、制作の目的、画材等）を調査し後世に遺していく資料として整備するための調査研究を行った。

みやざきアートセンター収蔵庫で年間通しての確認作業。

2 生頼作品保存のための施設設置の計画策定

前項の作品を保存、保管していくための施設を確保するための計画策定に着手し、関係機関との協議を行った。

2. 若手アーティスト育成のための支援に関する事業（公2）

（1）第4回「生頼範義賞」の企画・運営

芸術文化のさらなる普及を目指し、「生頼範義賞」を実施。受賞者発表会等を開催して若手アーティストとイラスト分野における産業との幅広い連携を図る契機とした。

（公1-①）の展覧会の開催と連動し実施した。

●会 期：2023年11月4日（土）～11月19日（日）＜16日間＞

10：00～18：00 ※休館日なし

（応募期間：2023年7月17日（月祝）～7月23日（日）＜7日間＞）

第一号議案 令和5年度（2023年度）理事会 令和5年度事業報告書（案）

●会場：みやざきアートセンター5階（常設展示室）

●入場料：無料（出品料：無料）

●動員：作品展入場者 1,870人（同時開催の第48回宮崎市美術展の入場者に準ずる）
作品応募総数 47点
（一般部門 出品数 30点・出品者数 26名／高校生部門 17点・15名）

●企画目的：

宮崎市に居を構え、2015年に他界したイラストレーター生頼範義氏（宮崎県文化賞・宮崎市功績者表彰、文化庁映画賞受賞）の名を冠した賞を開催することで、氏の偉業と功績を後世に伝えと共に、次世代のイラストレーターを育成する。募集作品のテーマを①「神話・SF・ファンタジー」・②「限定なし」として全国からイラストレーション作品を公募し、受賞作品展を宮崎市美術展と同時開催することで、応募者数と来場者数の増員に繋げる。

●成果：

これまでは県外高校からの応募は非常に少なく、大学も限られていたが、全国の大学7校、高校9校より応募があった。全体的な応募総数は減少したものの、芸術系の学科に通っている生徒の作品はレベルが高く見応えがあった。送付先を絞って配布した広報物の効果がみられたのではないかと考えられる。

AIによる画像作成ソフトを使用した作品の対策として、制作過程資料の添付を実施した。完成した作品だけでは分からない発想やこだわりを知ることができ、審査員も興味深そうにしていた。

表彰式には大賞受賞者がいなかったため、優秀賞受賞者4名（うち、県内在住3名）を招待した。生頼氏のご子息であるタロー氏より、生頼氏が使用していた筆が贈呈されるサプライズもあり、受賞者に喜んでいただける式典となった。

●反省：

今年度より応募資格を40歳未満とする年齢制限を設けた影響か、応募総数47点となり（1回24点、2回67点、3回133点）第3回に比べると半分以下に減少した。また、全体的な質の向上は見られたものの、大賞に相応しい突出した作品はなく選出することができなかった。

また、メールと郵送による申し込みを廃止し、WEB上の応募フォームからのみの受付とした。応募書類の記入漏れを減らすことができ、事務作業の大幅な効率化が図れたものの、文字情報の変換などデジタルツールならではのミスがあり、次年度は改良する必要があると感じた。

●内容：

審査員… 石川 千佳子（審査委員長／宮崎大学副学長兼付属図書館長）
オーライ タロー（画家）
開田 裕治（イラストレーター）
氷川 竜介（明治大学大学院特任教授）

第一号議案 令和5年度（2023年度）理事会 令和5年度事業報告書（案）

樋口 真嗣(映画監督)

応募規定… アマチュアであること。

- (1) テーマは①「SF・ファンタジー・神話」・②「限定なし」とする。
- (2) 高校生部門及び一般部門（18歳以上）
- (3) 出品料無料。応募に必要な制作費、送料は出品者の負担とする。
- (4) 画材は自由。手描きの場合は、キャンバス F20号（72.7 cm×60.6 cm）または B2（72.8 cm×51.5 cm）以内とする。デジタル作品の場合は、A3（29.7 cm×42 cm）以上 B2 以内。解像度 350dpi 以上。縦横は問わない。
- (5) 一人 2 点以内。

[実施状況（スケジュール）]

日時		内容
2023年	7月 17日（月祝）～7月23日（日）	応募受付期間
	31日（月） 10時～12時	一次審査（データ送付後、リモート審査）
9月	8日（金）～12日（火）	一次審査通過作品応募（原画輸送）期間
	21日（日） 15時～18時	二次審査（多目的室にて原画審査）、講評動画撮影
10月	2日（月）	審査結果発表
	5日（木）	二次審査落選作品発送（着払い） ※ヤマト運輸 受賞作品展示 ※長岡センター長
11月	3日（金） 13時～13時半	生頼範義賞表彰式
	4日（土） 9時半～10時	開幕（宮崎市美術展同時開催）
	19日（日）	閉幕
	順次 27日（月）	作品撤去・梱包作業 ※長岡センター長 作品発送（着払い） ※ヤマト運輸

[記録写真]

		
9/21 二次審査	9/21 講評動画撮影	11/3 表彰式
		
作品募集（サイネージ）	受賞作品ポスター	5F ロビー（展示室前）

		
<p>入選作品</p>	<p>受賞作品</p>	<p>展示室・講評動画</p>

- (2) 若手アーティスト育成の場となるよう他団体(出版社、NPO等)との連携により、将来のイラストレーター、画家を目指す人材の育成に関わる事業として生頼賞と連携して早川書房の出版する書籍に大賞受賞者の作品が掲載されるようコーディネートを行った。(公3-②)

〈その他事業〉

4. 関連商品の製作・販売（収1）

(1) 複製原画等の製作・販売に関する事業

公益事業を展開するための事業費を捻出するため、生頼家の許諾を得て生頼氏の作品の中からセレクトしたものの図録、複製原画等を作製し販売した。

宮崎市のふるさと納税の返礼品での現在、宮崎市の担当課が変更になったため、販売活動を休止中しており、令和6年度からの返礼品として指定されるよう調整を行ったが、ふるさと納税に関する総務省の規程の変更があり、現在、販売を見送っている。

第二号議案

貸借対照表

公益社団法人 生頼範義記念みやざき文化推進協会

令和6年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	【3,903,823】	【流動負債】	【250,970】
現金・預金	3,443,823	買掛金	330,000
未収金	460,000	未払費用	86,900
		未払法人税等	71,000
		負債合計	487,900
		純資産の部	
		【株主資本】	【3,486,923】
		[出資金受入金]	2,000,000
		[利益剰余金]	1,415,923
		(その他利益剰余金)	1,415,923
		繰越利益剰余金	1,415,923
		(うち当期純損失)	91,421
		純資産合計	3,415,923
	3,903,823	負債・純資産合計	3,903,823

第二号議案

損益計算書

公益社団法人 生頼範義記念みやざき文化推進協会

自 令和5年4月1日 ～至 令和6年3月31日現在

(単位：円)

I 純売上高		
1 事業収入	1,568,351	1,568,351
II 売上原価		
1 事業費		
公益目的事業費	1,588,772	1,477,372
売上総利益		90,929
III 販売費及び一般管理費		
販売費一般管理費合計	111,400	111,400
IV 営業外収益		
1 受取利息	46	
2 雑収入	4	50
経常損失		-20,421
税引前当期純損失		-20,421
法人税、住民税及び事業税		71,000
当期純損失		-91,421

令和5年度(2023年度)収支決算書
 2023年4月1日 ~ 2024年3月31日
 公益社団法人 生頼範義記念みやざき文化推進協会

第二号議案

(単位:円)

	公益目的事業 会計	法人会計	令和5年度 (予算)	令和5度 (決算)	公益目的事業会計(内訳表)				収益事業1
					公1	公2	公3	共通	
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
①基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
正会員受取会費			0	0					
賛助会員受取会費			200,000	0					
名誉会員受取会費			0	0					
④事業収益	1,317,331	0	1,450,000	1,317,331	0	0	0	1,317,331	0
(公1)博物館事業	1,317,331		1,000,000	1,317,331				1,317,331	
(公2)表彰事業			300,000						
(公3)学習会開催事業			50,000	0					
収益事業			100,000	0					
			0	0					
			0	0					
⑤受取補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦受取寄付金	250,970	0	200,000	250,970		0	0	250,970	0
⑧雑収入	0	0	30	50	0	0	0	50	0
雑収入			0	46				46	
受取利息			30	4				4	
			0	0					
経常収益計	1,317,331	0	1,650,030	1,568,351	0	0	0	1,568,351	0

(単位:円)

	公益目的事業 会計	法人会計	令和4年度 (予算)	令和5度 (決算)	公益目的事業会計(内訳表)				収益事業1
					公1	公2	公3	共通	
(2)経常費用									
事業費	1,337,802	0	1,443,000	1,337,802	230,642	995,710	0	111,450	0
仕入(事業費)	727,971		520,000	727,971	151,700	576,271			
人件費	0		0						
福利厚生費	0		10,000						
運賃	0		100,000						
旅費交通費	269,090		200,000	269,090		269,090			
交際費	0		20,000						
支払報酬	0		0						
通信費	19,930		10,000	19,930				19,930	
消耗品費	0		50,000						
印刷製本費	0		20,000						
事務用消耗品費	0		0						
諸謝金	135,000		180,000	135,000		135,000			
支払手数料	35,200		8,000	35,200				35,200	
新聞図書費	0		5,000						
水道光熱費	47,962		0	47,962	47,962				
租税公課	15,349		0	15,349		15,349			
外注費	52,800		300,000	52,800				52,800	
資料購入費	30,980		20,000	30,980	30,980				
雑費	3,520		0	3,520				3,520	
			0						
			0	0					
管理費	250,970	0	250,970	250,970	250,970	0	0	0	0
役員報酬			0	0					
給与手当			0	0					
臨時雇賃金	250,970		250,970	250,970	250,970				
退職給付費用			0	0					
			0	0					
経常費用計	1,588,772	0	1,693,970	1,588,772	481,612	995,710	0	111,450	0

	公益目的事業 会計	法人会計	令和4年度 (予算)	令和5度 (決算)	公益目的事業会計(内訳表)				収益事業1
					公1	公2	公3	共通	
評価損益等調整前当期経常増減	(271,441)	0	(43,940)	(20,421)	(481,612)	(995,710)	0	1,456,901	0
基本財産評価損益等									
特定資産評価損益等									
投資有価証券評価損益等									
評価損益等計									
当期経常増減額	(271,441)	0	(43,940)	(20,421)	(481,612)	(995,710)	0	1,456,901	0
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
固定資産売却益			0						
雑収入			0						
受取利息			0						
			0						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
固定資産売却損			0						
			0						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減	(271,441)	0	(43,940)	(20,421)	(481,612)	(995,710)	0	1,456,901	0
法人税・住民税・事業税			71,000	71,000					
当期一般正味財産増減額	(271,441)	0	(114,940)	(91,421)	(481,612)	(995,710)	0	1,456,901	
一般正味財産期首残高			3,507,344	3,507,344					
一般正味財産期末残高			3,392,404	3,415,923					
II 指定正味財産増減の部									
受取補助金等									
一般正味財産への振替額									
当期指定財産増減額			0	0					
指定正味財産期首額			0	0					
指定正味財産期末額			0	0					
III 正味財産期末残高			3,392,404	3,415,923					

監査報告書

令和6年5月30日

公益社団法人 生頼範義記念みやざき文化推進協会

代表理事 石川千佳子殿

監事 道本 晋一 
監事 樋口 祐紀 

私たち幹事は、当協会の令和5年4月1日から令和6年3月31日までの令和5年度の理事の職務の執行について調査を行いました。その方法及び結果について、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち幹事は理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以下の方法によって、当該事業年度に係る事業報告及びその付属明細書について、検討いたしました。

さらに、会計帳簿及び又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類及びその付属明細書並びに財産目録などについて検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

①事業報告及び付属明細書は、法令及び定款に従い、当協会の上京を正しく示しているものと認めます。

②理事の職務の執行に関する不正行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録等の監査結果

計算書類及びその付属明細書並びに財産目録等は、当協会の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

公益社団法人 生頼範義記念 みやざき文化推進協会 役員名簿（案）
（令和6年6月3日～）

氏名	所属	メールアドレス/住所
代表理事 井手 義哉	串間市役所	
代表理事 石川 千佳子	宮崎大学教育学部	
理事 石田 達也	みやざきアートセンター	
理事 大泉 佳広	宮崎大学教育学部	
理事 近藤 宏斉	MRT宮崎放送 スポーツ・プロモーション局 局長	
理事 渋谷 朋子	宮崎市文化・市民活動課長	
理事 田代 学	宮崎日日新聞社 常務取締役営業局長	
理事 戸高 俊二	UMKテレビ宮崎 営業局長	
監事 道本 晋一	音楽教室講師	
監事 樋口 祐紀	みやざきアートセンター	

顧問

氏名	所属	メールアドレス
浜門 正和	川越孝幸税理士事務所	
生頼 太郎	画家	

事務局

氏名	所属	メールアドレス
工藤 悦朗	みやざきアートセンター	
長岡 政己	みやざきアートセンター	

第四号議案 令和6年度（2024年度）事業計画書（案）

令和5年度 総会 議決

令和6年度（2024年度）

事業計画書（案）

2024年4月1日から
2025年3月31日まで

公益社団法人 生頼範義記念 みやざき文化推進協会

はじめに

【環境認識】

世界的な株価上昇に対し、大きな後れをとっている我が国では、バブル以前の給与水準から実施的な賃金の引上げなきまま、現在に至っている。また中央省庁や地方自治体も福祉や子育て支援対策等の予算確保に力を入れている状況下で芸術文化に対する公的予算の獲得は年を重ねるごとに難しくなりつつある。

特に次世代を担う若者たちの人材育成に関しては、重要性を認識しながらも実質的な取り組みは遅れており、宮崎県内でも職業として文化・芸術に携わる若年層が活躍する場の創出の限界が顕在化され、宮崎県という地方都市での文化・芸術に携わる人材の育成の場、環境づくりが喫緊の課題として挙げられている。宮崎県民に対する文化・芸術への意識の醸成、またこれらの活動に携わる人材のネットワーク化が計画されており、前出の課題の解決に向けた取り組みを実現する契機となると認識している。

令和2年度に一般社団法人から公益社団として新たな活動を開始した当法人は、芸術文化の普及及び人材育成に努め、より広く活動の幅を広めていくことは時代に即したものであることを自負し「民間による自発的な文化・芸術活動」を推進し「魅力ある地域社会を創造する」ことを念頭におき、民間公益活動の質と量を高めていくことが重要であると認識している。

以上の環境認識のもと、2024年（令和6年）度事業計画は、故・生頼範義氏が遺したイラスト、絵画作品を活用し、宮崎県内での文化・芸術に対する県民の意識の醸成及び、文化・芸術に携わる人材育成を柱に諸施策を達成するための活動として位置づけ2024年（令和6年）度の活動にあたるものである。

【基本方針】

故・生頼範義氏が遺したイラスト及び絵画作品を保存・保管に努めると共に、宮崎県内での展示会等を企画し、文化・芸術に携わる若手の人材育成と県民の文化に対する意識の醸成を企図することで、地域社会の発展に寄与することを目的として2024年（令和6年）度は次の3項目を軸に事業計画を策定する。

- 1) 展覧会の開催、常設の展示会場の設置実現に向けての計画策定
- 2) 故・生頼範義氏の作品・約3,000点の保存及び調査研究
- 3) 若手アーティスト育成のための支援

【2024年（令和6）年度事業方針】

基本方針に基づき、宮崎県の芸術・文化を取り巻く環境変化・課題を適切にとらえつつ、以下の具体的活動を積極的に推進する。

- 1) 展覧会の開催、常設の展示会場の設置・実現に向けての計画策定
 - ・年1回1カ月程度の展覧会の開催
 - ・常設展示会場の設置に向けての調査研究、提言活動
 - ・宮崎県内からの生頼作品に関する情報の発信
- 2) 故・生頼範義氏の作品・約3,000点の保存及び調査研究
 - ・故・生頼範義氏が遺したイラスト及び絵画作品の制作年度の調査
 - ・イラスト及び絵画作品の制作目的の解明
 - ・イラスト及び絵画作品の保管場所への収蔵を行い、保存に要する経費を捻出する。
 - ・常設の展示会場設置に向けて議論を深め、実現に向けて関係機関への提案を行う

3) 若手アーティスト育成のための支援

- ・芸術文化のさらなる普及を目指し「生頼範義賞」を継続して実施するための準備及び関係機関との連携を図る
- ・将来のアーティストと成りえる人材の育成に係る課題と取組について議論を深める

「事業実施内容」

〈公益事業〉

1. 故・生頼範義氏の遺した作品の普及・啓発を目的とし、展覧会を開催するための企画を行うと共に、常設展示会場の設置に関する事業（公1）
 - (1) 展覧会開催のための企画案策定（公1-③）

新たな展覧会企画案の策定。
 - (2) 常設展示場設置の計画策定（公1-①）

生頼作品が日常の中でいつでも見られるような環境を創造するため、宮崎県内に常設展示場を設置するための計画策定に着手し、関係機関と調整。必要であれば関係機関に提案し実現に向けての活動を行う。
2. 故・生頼範義氏の遺した作品の保存及び調査研究に関する事業（公1-②）
 - (1) 生頼範義作品の調査研究（公1-②）

現在、故・生頼範義氏のみやざきアートセンター及び宮崎市歴史資料館に保管されているイラスト・及び絵画作品の詳細（制作年度、制作の目的、画材等）を調査し後世に遺していく資料として整備するための調査研究を行う。
 - (2) 生頼作品保存のための施設設置の計画策定（公1-②）

前項の作品を保存、保管していくための関係機関と調整し実現に向けての活動を行う。

第四号議案 令和6年度（2024年度）事業計画書（案）

- (3) 上記(1)(2)を達成するため、広く賛助会員及び寄付を募るための広報を行う。
3. 若手アーティスト育成のための支援に関する事業（公2）
- (1) 第5回「生頼範義賞」の公募事業（公2-①）
- 芸術文化のさらなる普及を目指し、第5回「生頼範義賞」を公募し、受賞者発表会等を開催し若手アーティストとイラスト分野における産業との幅広い連携を図る契機とする。2024年11月に授賞式を予定。
- (2) 若手アーティスト育成の場となるよう他団体(出版社、NPO等)との連携により、将来のイラストレーター、画家を目指す人材の育成に関わる課題と取り組みについて学習会、意見交換会等を開催する。（公3）

〈その他事業〉

4. 関連商品の製作・販売の企画立案（収1）
- (1) 複製原画等の製作・販売に関する事業（収1）
- 公益事業を展開するための事業費を捻出するため、生頼家の許諾を得て生頼氏の作品の中からセレクトしたものから図録・複製原画等を作製し販売する企画を検討する。
- なお本収益事業で得た利益の50%以上は公益事業の事業費として充当する。

令和6年度(2024年度)収支予算書
 2024年4月1日 ~ 2025年3月31日
 公益社団法人 生頼範義記念みやざき文化推進協会

第五号議案

(単位:円)

	公益目的 事業会計	法人会計	令和6年度 (予算)	令和5年度 (実績)	公益目的事業会計(内訳表)				収益事業1	合計
					公1	公2	公3	共通		
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
① 基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
② 特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③ 受取会費	200,000	0	200,000	0	0	0	0	200,000	0	200,000
正会員受取会費			0	0						0
賛助会員受取会費	200,000		200,000	0				200,000		200,000
名誉会員受取会費			0	0						0
④ 事業収益	1,030,000	0	1,030,000	1,317,331	700,000	100,000	30,000	100,000	0	1,030,000
(公1) 博物館事業	800,000		800,000	1,317,331	700,000			100,000		800,000
(公2) 表彰事業	100,000		100,000	0		100,000				100,000
(公3) 学習会開催事業	30,000		30,000	0			30,000			30,000
収益事業	100,000		100,000	0						100,000
			0	0						0
			0	0						0
			0	0						0
⑤ 受取補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥ 受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦ 受取寄付金	0	0	0	250,970	0	0	0	0	0	0
			0	250,970						0
⑧ 雑収入	0	30	30	50	0	0	0	0	0	30
雑収入			0	46						0
受取利息		30	30	4						30
			0	0						0
経常収益計	1,230,000	30	1,230,030	1,568,351	700,000	100,000	30,000	300,000	0	1,230,030

(単位:円)

	公益目的 事業会計	法人会計	令和6年度 (予算)	令和5年度 (実績)	公益目的事業会計(内訳表)				収益事業1	合計
					公1	公2	公3	共通		
(2)経常費用										
事業費	1,202,000	110,000	1,202,000	1,337,802	380,000	658,000	0	164,000	0	1,312,000
仕入	400,000	0	400,000	727,971	150,000	250,000				400,000
人件費	0		0							0
福利厚生費	10,000	10,000	10,000					10,000		20,000
運賃	0		0							0
旅費交通費	250,000		250,000	269,090	50,000	200,000				250,000
交際費	20,000		20,000		10,000	10,000				20,000
支払報酬	0		0							0
通信費	20,000		20,000	19,930		20,000				20,000
消耗品費	10,000		10,000		5,000	5,000				10,000
印刷製本費	10,000		10,000			10,000				10,000
事務用消耗品費	0		0							0
諸謝金	160,000		160,000	135,000		160,000				160,000
支払手数料	7,000		7,000	35,200		3,000		4,000		7,000
新聞図書費	0		0							0
水道光熱費	110,000		110,000	47,962	110,000					110,000
賃借料	35,000		35,000	15,349	35,000					35,000
外注費	150,000	100,000	150,000	52,800				150,000		250,000
資料購入費	20,000		20,000	30,980	20,000					20,000
雑費	0		0	3,520						0
	0		0							0
			0							0
管理費	0	0	0	250,970	0	0	0	0	0	0
役員報酬			0							0
給与手当			0							0
臨時雇賃金			0	250,970						0
退職給付費用			0							0
			0							0
経常費用計	1,202,000	110,000	1,202,000	1,588,772	380,000	658,000	0	164,000	0	1,312,000

	公益目的 事業会計	法人会計	令和6年度 (予算)	令和5年度 (実績)	公益目的事業会計(内訳表)				収益事業1	合計
					公1	公2	公3	共通		
評価損益等調整前当期経常増	28,000	(109,970)	28,030	(20,421)	320,000	(558,000)	30,000	136,000	0	(81,970)
基本財産評価損益等										0
特定資産評価損益等										0
投資有価証券評価損益等										0
評価損益等計										0
当期経常増減額	28,000	(109,970)	28,030	(20,421)	320,000	(558,000)	30,000	136,000	0	(81,970)
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
固定資産売却益			0							0
雑収入			0							0
受取利息			0							0
			0							0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用										
固定資産売却損			0							0
			0							0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減	28,000	(109,970)	28,030	(20,421)	320,000	(558,000)	30,000	136,000	0	(81,970)
法人税・住民税・事業税				71,000				0	0	0
当期一般正味財産増減額	28,000	(109,970)	28,030	(91,421)	320,000	(558,000)	30,000	136,000	0	(81,970)
一般正味財産期首残高			3,415,923	3,507,344						
一般正味財産期末残高			3,443,953	3,415,923						
II 指定正味財産増減の部										
受取補助金等										
一般正味財産への振替額										
当期指定財産増減額			0	0						
指定正味財産期首額			0	0						
指定正味財産期末額			0	0						
III 正味財産期末残高			3,443,953	3,415,923						